

基礎消化器学

科目到達目標:消化器系の発生と構造および機能を理解し、それらを病態と関連づけて説明できる。

科目責任者(所属教室):松浦 達也 (統合分子医化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(金)	1	111	消化管の一般構造、食道・胃の構造	中根 裕信	解剖学	消化管の一般構造、食道・胃の構造を説明できる。	粘膜、筋層、漿膜、狭窄部位、胃底、噴門、幽門、小弯、大弯、胃腺
2	4/1(金)	2	111	小腸、大腸の構造	中根 裕信	解剖学	小腸、大腸の構造を説明できる。	回盲部、虫垂、結腸ヒモ、腹膜垂、結腸膨起、腸絨毛、パイエル板
3	4/8(金)	1	111	消化管の発生	中根 裕信	解剖学	消化管の形成過程を説明できる。	前腸、中腸、後腸、メッセル憩室、胃間膜、腸ループの回転、網嚢
4	4/8(金)	2	111	膵臓、胆嚢の構造	稲賀 すみれ	解剖学	膵臓、胆嚢の構造を説明できる。	胆嚢底、肝管、胆嚢管、総胆管、オッディ括約筋、副膵管、外分泌部、膵島
5	4/15(金)	1	111	口腔、歯、舌、唾液腺の構造	小谷 勇	口腔顎顔面病態外科学	口腔、歯、舌、唾液腺の構造を理解する。	口腔、粘膜、歯、歯周組織、小唾液腺、大唾液腺、舌、上顎骨、下顎骨、口蓋、顎関節
6	4/15(金)	2	111	肝臓の構造	加藤 雅子	分子病理学	肝臓の構造、構成細胞	肝細胞、類洞、クッパー細胞、星細胞、グリソン鞘、胆管
7	4/21(木)	1	111	消化液の分泌	河合 康明	適応生理学	唾液、胃液、膵液の分泌と作用	唾液、アミラーゼ、胃液、胃酸、ペプシン、膵液、トリプシン、膵アミラーゼ、膵リパーゼ、HCO ₃ ⁻
8	4/21(木)	2	111	消化と吸収	河合 康明	適応生理学	管腔内消化、終末消化、吸収過程	能動輸送、担体輸送、共輸送、糖質・蛋白質・脂質の吸収
9	4/22(金)	1	組織系	組織実習(1)(医2年次)	中根 裕信	解剖学	食道、胃の構造を説明できる。	食道腺、筋層、筋間神経叢、粘膜下神経叢、主細胞、副細胞、旁細胞、G細胞
10	4/22(金)	2	組織系	組織実習(2)(医2年次)	中根 裕信	解剖学	小腸、大腸、膵臓、胆嚢、肝臓の構造を説明できる。	輪状ひだ、腸絨毛、陰窩、腸腺、リンパ小節、膵管、腺房、腺房中心細胞、膵島、肝小葉、類洞、グリソン鞘、三つ組
11	5/6(金)	1	111	肝臓の機能(1)	松浦 達也	統合分子医化学	糖質、脂質、タンパク質、薬物代謝の説明	グリコーゲン、糖新生、ケトン体、コレステロール、リボタンパク、尿素サイクル、シトクロムP450、肝細胞
12	5/6(金)	2	111	肝臓の機能(2)	松浦 達也	統合分子医化学	胆汁酸、金属、ビタミン、アルコール代謝の説明	ビタミンA、ビタミンD、ビタミンK、鉄・銅代謝、急性期タンパク質、ADH、ALDH、MEOS
13	5/13(金)	3	111	消化器の薬理(1)	三浦 典正	薬物治療学	消化性潰瘍発症機序と薬物治療メカニズム	胃酸分泌、H ₂ レセプター、H ₂ ブロッカー、プロトンポンプ、プロトンポンプインヒビター
14	5/13(金)	4	111	消化器の薬理(2)	三浦 典正	薬物治療学	膵炎の病態と薬物治療	急性膵炎、慢性膵炎、ケミカルメディエーター、ガベキサートメシル酸塩、ナファモスタットメシル酸塩
15	5/20(金)	1	111	消化管の運動	河合 康明	適応生理学	消化管の運動	嚥下、輪走筋、縦走筋、機能的合胞体、アウエルパツハ神経叢、slow wave、蠕動運動、排便
16	5/20(金)	2	111	消化の神経性、液性調節	河合 康明	適応生理学	腸管神経系、外来神経、消化管ホルモン	壁内神経叢、迷走神経、ガストリン、セクレチン、コレシストキニン
17	5/24(火)	4	111	胆膵系の機能	松浦 達也	統合分子医化学	胆膵系の機能と病態の理解	胆汁、消化酵素、胆石症、胆嚢炎、胆管炎、膵炎

教育ブランドデザインとの関連:2、3、5

学位授与方針との関連:1

評価:本試験は筆記試験+実習評価 100%。ただし、単位認定規則の出席時間不足者は受験を認めない。再試験は筆記試験のみで評価する。

その他:組織実習は組織系実習室にておこなう。その際、パソコン、色鉛筆(12色程度)、LANケーブルを持参のこと。授業外学習は講義プリントや参考書を使って復習を中心に行うことを勧める。

定期試験:6月20日(月)8:40-10:10